



このコーナーでは、男女平等参画をはじめとする様々なテーマの本を紹介し、男女平等推進センター「パリテ」の図書コーナーで貸し出していますので、ぜひご利用ください。



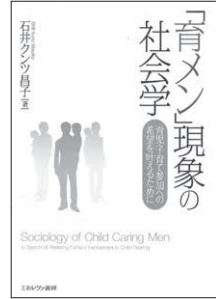
育児は仕事の役に立つ
「ワンオペ育児」から「チーム育児」へ
著者：浜屋祐子 中原淳
出版社：光文社

育児の経験やスキルが、仕事にどのようにポジティブな影響をもたらすかがテーマ。「育児を通して仕事に活用できる学びをしている」という視点を持つことが大切であり、「ワーク」と「ファミリー」が相乗効果をもたらす可能性を探求している。



自衛隊防災BOOK 2
著者：自衛隊／防衛省 協力
編：マガジンハウス
出版社：マガジンハウス

自然災害が激化している中で、危機管理のプロである自衛隊の129個のノウハウが「大雨」、「地震」等のカテゴリ別にわかりやすく整理されている。個人的には、コンロがなくてもお湯を作る方法が一番参考になった。



「育メン」現象の社会学
著者：石井クツ子
出版社：ミネルヴァ書房

近代日本では少子化対策として男性の育児や子育て参加が啓発されてきました。その一環として男女のワークライフバランスも重要な課題となってきました。育メンに注目することで、父親が育児に参加するようになり、家族に良い結果をもたらすとしています。

パリテだより

センターパリテでは、さまざまなイベントを開催しています。2019年11月までの主な事業をご紹介します。



2019年10月2日(水)

訪問看護師が見つめた介護の実際～より良い介護とは～
講師：宮子あずささん

講師の宮子さんは経験豊富な看護師さんで、まず医療政策・制度の仕組みを知ることが大事と話されました。その後二つの事例を基に介護の心構え・工夫についてお話があり、介護する人の心を軽くしてくれる講座でした。



2019年10月26日(土)

無心で描いてリフレッシュ～誰にでも描けるゼンタングル®アート
講師：Momoeさん

参加者の皆さんも初めはちょっと緊張気味でしたが、先生の説明を伺ってシンプルなパターンを集中して描いていくうちに、自由でリラックスした雰囲気。それぞれが十人十色の自分らしい作品を仕上げました。



2019年11月16日(土)

わたしも大事・あなたも大事～知っておこうDVのこと～
講師：米山麻以子さん

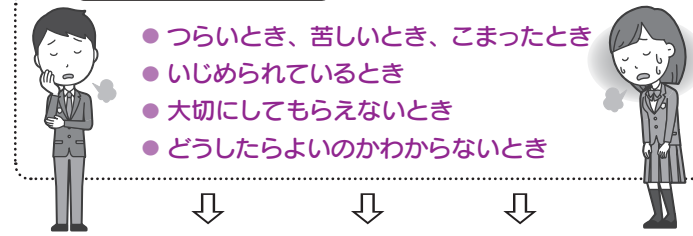
DVの正しい理解が大切だと痛感した2時間。親密なパートナーとの関係性で起こるその元には、力と支配による抑圧の社会構造があること、自分が持つ無意識の偏見の気づき、一方、予防として自分を大切にする、孤立しないことを学びました。

News! 西東京市 子ども相談室「ほっとルーム」ができました!

小学生・中学生・高校生のみなさんへ

友達のこと、学校のこと、勉強や家族のことなど、どんなことでも「ほっとルーム」に気軽に相談してください。

たとえば、こんな時に



子どもの権利擁護委員(CPT:Children Protect Team)がみなさんのお話を聞いて、安心できるまで寄り添います。

一緒に考えます!

子どもの気持ちや意見をゆっくり最後まで聞きます。子ども自身が一番よいと思える方法を一緒に考えます。

一緒に調べます!

子どもの希望に応じて関係する人に話を聞いたり、調査したりすることができます。

意見を伝えます!

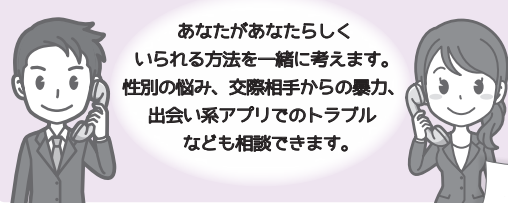
関係する人にこうなればもっとよくなるなど、改善をもとめることができます。

相談受付 月曜～金曜日 午後2時～8時
土曜日 午前10時～午後4時
(日曜日、祝日、年末年始はお休み)

相談電話 フリーダイヤル **0120-9109-77**
※メールでの相談は返信までに時間がかかります。

メール相談 メールでの相談はこちらから。
※メールでの相談は返信までに時間がかかります。

相談場所 住吉町6-15-6(地図は8ページにあるよ) 住吉会館ルピナス2階 子ども相談室 会ってお話もできます。子どもに関するのなら、大人からの相談も受け付けます。



ステキに男女平等参画! 「女性の活躍」編

自分を信じ 人を信じる力を育てたい

みつはし あきこ さん (西東京市在住)



起業のきっかけとなったのは、子育て、仕事、家庭生活に悩んでいた2011年に、自分の人生を自分らしく生きていくためのライフコーチング(※)と出逢ったこと。自分の意識や視点がガラリと変わり、それによって周りも変わって見えました。それまでやりたいこともできず自分を抑えて生きてきた自分が、探し求めていた「何か」にめぐり逢った気がしました。当時、私は2人の子どもを抱え離婚寸前の状態。それでも子どもたちの「お母さん、やりたいことはやった方がいいよ!」という言葉に背中を押され、思い切ってスクールに通い、学びや体験を重ねながら、これまで国際コーチを含む3つのコーチ資格を取得してきました。



2016年、それまで14年働いてきた大手カード会社を辞め、現在の夫や3人の子どもの応援を得ながらライフコーチとして起業しました。クライアントの大半はママで、相談内容は、ママ自身のライフワーク、家族や子どもとの関係が中心です。私自身が親の離婚や虐待、子育て、ワーキングママ、離婚、シングルマザー、再婚(ステップファミリー)などで悩んできた経験がコーチングを行う上での財産となっています。同じことで悩んでいる人や子どもたちの生きる力を育むお手伝いができたら嬉しいです。

私の最終目標は、自分も人も信じて生きる人を増やすことで、世の中の悲しい事件をなくすこと。今後は、コーチの育成にも力を入れ、仲間とともに教育の現場にコーチングを取り入れていきたいと思っています。

※コーチング: コーチと会話することで、自発的行動を促進し自己実現に繋げるコミュニケーションのこと